

札幌ドームでの開催は、 世界をあっという間とさせる と思います。

— 原田雅彦 —

原田 ヨーロッパでは、スキーは非常にメジャーなスポーツですからね。ドイツなどではスキー選手は国民的英雄として扱われますし、世界選手権ともなれば各国から一斉

驚きました。人口わずか一万人ほどの街に、三十六万人もの人が集まり、熱狂的な応援をしている。何かただならぬ雰囲気すら感じました。



のときも日本中が熱狂しました。また、見逃せないのは、大会後、国際オリンピック委員会からオリンピックカップが札幌に授与されたこと。それだけ大会の運営、市民のおも

札幌で行う世界大会

に観客が訪れます。また、国同士の誇りをかけた戦いという意識も強く、応援にも熱が入るんですよ。

市長 国際大会とい

えば、札幌でいうと一九七二年の札幌冬季オリンピックピック

が思い出されます。こ

FIS NORDIC WORLD SAPPORO



がとうございました。

原田 そうですね。二〇〇六年の北海道は野球で盛り上がりましたが、二〇〇七年はぜひスキーで盛り上がってほしい。そのために、わたしも広報大使として精一杯この大会をPRしていきます！

市長 世界一の英雄でありながら、なぜか親近感を覚えてしまう。あらためて原田さんの不思議な魅力に触れた思いが

原田 今回の大会は、札幌ドームの中に雪を持ち込んで距離競技を行います。あれは絶対に驚くと思いますよ。世界に十分インパクトを与えられると思います。また、世界トップレベルの競技を目的に当てることで、スキーに関心を持つ人、選手を志す子供たちが増え、スポーツ振興の面でも、大きな意義があると思いますね。

市長 市民の皆さんにもぜひ、札幌で「すごい大会」をやるということを知ってもらい、会場に足を運んでほしいと思います。

てなしが素晴らしかったという事です。今回の世界選手権も、このオリンピックに負けないくらい立派な、世界にアピールできるような大会にしたいですね。



原田さんに金メダルを掛けてもらい、感動の上田市長。「結構重いものなんだなあ」

札幌の名誉、オリンピックカップ

1972年の札幌冬季オリンピックにおける大会運営や、海外からの多数の観光客を温かく迎え入れた札幌市民が高く評価され、国際オリンピック委員会から札幌市に授与されたのがオリンピックカップです。1906年の創設以来、当時26都市あったオリンピック開催市の中で4都市目の栄誉でした。



現在はレプリカの盾がウインタースポーツミュージアム(中央区宮の森1274)に展示されている

左が世界選手権、右が長野五輪の金メダル

